

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	入江 一雄
主な担当科目	ピアノアンサンブルⅠ②,ピアノアンサンブルⅠ③,ピアノアンサンブルⅡ②_A,ピアノアンサンブルⅡ②_B,室内楽特別演習①②,ピアノ
2024年の教育目標・授業に臨む姿勢	専任職3年目を迎え、より多くの学生と関わるようになった。芸術や音楽の素晴らしさや尊さを伝える熱量は制限されるものではないため、常にポリシーとして持っている「普遍的に守らなければいけないこと・それら以外は自由なものである」という信念のもと学生に指導している。学生にとって親しみやすいコミュニケーション方法を探りつつ、共に成長していくことを目指す。
2024年の教育に関する自己評価	より多くの学生と関わるようになったことで、より多様なコミュニケーションが求められたように思う。生徒の自主性や主張を引き出すことを目標としているが、各々が直向きに音楽に接して貪欲に成長しようとする姿勢が多く見られ、指導者として嬉しく感じられる瞬間が増えた。このような時間に溢れるような指導生活を、今後も続けていきたい。
2024年のFD活動に関する自己評価	積極的にFDに参加した。いつも自分の知らない内容に触れているので、来年以降も見識を広げる意識を明確に持って臨みたい。
授業改善のために取り入れた研修内容	9/10FD・SD時の二俣先生のお話、学生とのコミュニケーションをどのように取るか、というお話をもとに、自身にできるコミュニケーション方法を模索した。

2024 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:3239 教員名:入江 一雄

1)アンケート結果に対する所見

概ね良好な評価であったことを知り、私の意図したことや伝えたいことを感じてもらえたことを嬉しく思う。

2)要望への対応・改善方策

「ピアノ教養特論 II」に記載されていた「授業で投映する情報を事前に共有してほしい」という意見については、検討の余地があるように感じている(事前に共有した方がわかりやすい反面、授業時の集中度は減るのではないか)。その他は早期に改善するような点は見当たらなかったが、今後も良い内容を伴って授業を展開していきたい。

3)今後の課題

いつも掲げていることだが、音楽を愛する気持ちを育んでもらえるよう、今後も様々な方向や手法で伝えられるよう考えていく。

以 上